

吉田統括監だより 第14号

町民の皆さんこんにちは。この度の記録的豪雨により、九州北部では未曾有の大災害が発生しました。該当地域住民の方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

さて、錦江町まち・ひと・MIRAI創生協議会では、町民の皆さまの強いご要望を踏まえ『しごとづくり』に関するメニューを当初計画よりもたくさん用意しました。ちなみに、今までとは明らかに異なる手法を多く採用しています。なぜならば、世界に例がない急激な右肩下がり社会にあって、町民や行政と共に『未来』を切り拓く挑戦をする為だからです。

なお、『しごとづくり』以外の4つのプロジェクト詳細は町広報紙差込みの当会リーフレットでご確認ください。

1. プロジェクト『しごとづくり』の概要

当面下げ止められない『生産年齢人口減少』が進行するにつれ、トータルでの経済規模(町内総生産額や消費額、町内事業者数、農業生産者数等)の縮小はどうやっても避けられません。この現実をきちんと受け止めた上で、町内事業者・農業生産者の利益向上や新たなビジネス興し等「質の向上」を図るための取り組みを行います。

2. プロジェクト『しごとづくり』の詳細メニュー

◆大前提：私たちは『自助的活動』、『未来志向』、『三方良し』を重視します。

1) 頑張る農林水産・商工経営者や起業・起農希望者に 対し、積極的に投資を行います。《総量制限あり/9月開始》

- ①生き残りを懸け、新たな取組みを実践される農林水産経営者や商工業経営者に対し、少額(10~50万円)投資を行います。
- ②当町の未来づくりに寄与するような町民主導型の社会貢献型ビジネスに対し、少額(10~50万円)投資を行います。
- ③起業や起農に新たに挑戦される方に対し、少額(10~50万円)投資を行います。
- ④高齢者によるスマールビジネス(小規模事業)等に対し、少額(10~50万円)投資を行います。
- ⑤役場の新規政策である『錦江町版がんばるビジネス補助金』について事業計画を一緒に考えます。
- ⑥クラウドファンディング等、新たな事業資金獲得手段を助言し、仕掛け方と一緒に考え、行います。

2) 錦江町の未来を左右する『農林水産業』で頑張る 方々を応援します。《8月開始》

- ①町内農林水産業を牽引している経営者に対し、最先端通信技術(AI/ICT/センシング等)の導入支援を積

極的に行い、更に『儲かる』経営を共に目指します。

- ②町内農林水産業を牽引している経営者に対し、フードバリューチェーン化を意識した高付加価値型の販路拡大営業を共に行います。
- ③大学などと連携し町内産品の機能性調査支援による付加価値向上に取組みます。
- ④ふるさと納税等を活用した町内産品売上げ向上に取組みます。
- ⑤販路拡大の為の商談会・ビジネスマッチングフェア・先進地での勉強など、事業者の経営強化に繋げる為の旅費・参加費補助を行います。
- ⑥農林水産業後継者不足解消を目的とした移住者誘致や町出身者の回帰誘致を積極的に行います。
- ⑦起農を希望する移住者誘致や町出身者の回帰誘致を積極的に行います。
- ⑧新たなビジネス展開を図る上で、必要な提携相手を全国から探しだして紹介します。

3) 価格低迷中の特産品に特化した所得向上を応援します。《9月開始》

- ①相当な努力はしているものの、外部情勢により、価格低迷を余儀なくされている特産品の高付加価値化による所得向上に繋がる手段の考案と実践を生産者と共に考え積極的に実践します。
- ②厳しい状況ながら生き残りを目的とした『研修や勉強会』等への参加旅費を補助します。

4) ふるさと納税を町の力に変えるプロジェクトを行います。《8月開始》

- ①これまで町外事業者が担っていた事務委託を協議会に移管します。
- ②事務委託で得た利益の殆どを町内での新規ビジネス・社会貢献型事業・後継者への事業継承などに挑戦する町民や移住者に対して『小口(10~50万円)』ながら、積極的に投資します。※1)に記載
- ③新たな事業者開拓や商品開発等の支援による町内への更なる経済波及効果向上に取組みます。
- ④都市部寄付者の方々との『絆』を深め、町内への活動支援、投資、移住などに積極的に繋げます。

5) 町内の休眠公共資産を有効資産に変えるプロジェクトとして、神川中学校を皮切りに実証実験を行い、『神川モデル』ともいるべき手法の3年以内での確立を目指します。《開始済み》

- ◆町内どちらへでも訪問相談しますので、まずはお電話ください。(☎ 25-1001/旧神川中学校)